2.釜石鵜住居復興スタジアムに関する報告

<報告内容>

(1) 調査概要

- 各種インタビュー
- 参考施設の現地調査
  - アシュトンゲートスタジアム
  - キングズホルムスタジアム
  - オガール紫波
  - 北海道バーバリアンズ グラウンド
- 基礎資料・文献を使った調査

(2) 基礎調査のまとめ

- スタジアムならびに周辺施設の基礎インフラ
- 周辺の開発状況について（鵜住居駅周辺・根浜周辺）
- 釜石鵜住居復興スタジアムについての基礎的な分析
- インタビューを通じた洞察
- 国内外の参考施設のフィールドワークを通じた洞察

(3) 釜石鵜住居復興スタジアム運営計画

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画：運営計画

前章までの基礎的な調査において、スタジアム並びに周辺地域の開発も含めたハード・スペックの確認、インタビューを通じた地元市民、事業者、行政側の意向や期待値の把握、また国内外のスポーツ施設の実地調査を通じた参考とすべき要素の洗い出しなどを行ってきた。

それらの情報を踏まえて、本スタジアムの運営方針を検討していく。まずは包括的な検討対象領域を下記のように設定した上で、それぞれの項目についての計画を説明していく。

＜運営計画策定のための検討領域＞

Ⅰ： ミッション・ビジョン・コンセプト・戦略

Ⅱ：事業スキーム

Ⅲ：事業収支と活用計画

Ⅳ：RWC2019前の直近のアクション

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
Ⅰ:ミッション・ビジョン・コンセプト・戦略

MISSION

FIELD OF DREAM

こどもたちに夢を与え、釜石を世界に開くスタジアム

VISION

LEGACY FOR FUTURE

RWCレガシーを活かしスタジアムを通じ釜石を元気にする

CONCEPT

RUGBY PARK

日本初のラグビーパークとして、様々な人が運営に関わり、市民がそして世界の人が楽しめるラグビーの公園にする

STRATEGY

OPEN STADIUM 戦略

「皆で創るスタジアム」を標語に、あらゆるステークホルダーを巻き込み、スタジアム関わり人口を最大化する

（３）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
Ⅱ：事業スキーム

事業スキームを検討する上での基本指針

1. 「ラグビーパーク」として、釜石市民に対して、更にはあらゆる人に開かれたスタジアムとして運営されていくために、民間事業者を幅広く活用した運営モデルを目指していく必要がある。

2. 釜石市内から県内に、更には東京に商圏を広げていく必要がある。そのためスタジアム運営に関わる民間企業はコンソーシアムとして、市内の民間事業者と県・東京の民間事業者の両方が組み合わさった連合体を理想とする。

3. 市の財政にとって、スタジアム運営により財政負担を少しでも小さくするため、「スタジアムの収益性確保」を至上命題にかかげ、民間事業者が適切な収益追求が可能となる事業スキームを組む必要がある

4. スタジアムのアクセスの難しさ、市内の商圏・経済規模などを鑑みるに、収益化が容易ではないスタジアムであることを踏まえた上で、民間業者への条件設定の検討が必要となる。（厳しい条件の設定、短い指定管理年数の設定、民間側の裁量権が狭い設定を行う事で、入札者が現れないリスクを回避する必要がある）

5. ラグビーワールドカップが終わってから運営スキームも含めて検討するのではなく、現時点から検討を早急に進め、民間事業者の関心が高いうちに、またスタジアムの収益性に大きく関わる協賛社や、大型イベント誘致のためのプローモーターなどの投資意欲が高いうちに、２０２０年以降の運営スキームを固めていく必要がある。

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
II：事業スキーム

事業スキーム方針案

- **指定管理制度と設置管理制度を組み合わせた（同一主体者を想定した）モデル**

  - 設置管理者制度：飲食店都市公園を構成する公園施設を対象に、設置・管理を行う。期間は10年を越えてはならない。また、議会による議決を必要としない
  - 指定管理者制度：　都市公園全体の包括的な管理で、管理のみを行う。期間は3-5年が一般的。議決を必要とする。

（国土交通省、官民連携による都市公園魅力向上ガイドライン、平成 26 年 4 月 1 日現在）

- **指定管理者と設置管理者が同一主体者のケースでのメリット**

  - 設置管理許可施設での利益の一部を、都市公 園でのイベント実施等、都市公園の魅力度向 上に資する取り組みに充当することが可能 となる
  - 設置管理許可施設の収益性が低く、単独では 独立採算事業化することが困難な場合でも、 指定管理業務とパッケージとして実施する ことで、設置管理許可施設の運営を行うこと が可能となる

今後取り組むべき方向性

- 民間事業者へのヒアリング、指定管理・設置管理同一主体として管理が可能な共同体組成にむけたフィージビリティースタディーを行う
- 指定管理・設置管理の組み合わせのモデルにおけるメリット・デメリット、実際に進めるにあたってのプロセス、経済性検討などを専門業者を雇用し、検討を進める

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
III：事業収支と活用計画

事業収支に関する基本的な方針

- 安定収益のスタジアム運営に向けて
  - 使用料収入：幅広い使用・活用方針の中で、少ない回数・日数（年間数回）の有料興行で如何に多くの使用料収入を確保し、残りは低い使用料で市民が活用できるようにするかが鍵
  - 協賛収入：単なる「スポンサー」から「スタジアムパートナー」とコンセプトを変え、RWC2019前の投資意欲が高いうちから、既存の関係のある法人に複数年契約による協賛契約を営業に行き、収益の安定化をはかる
  - 支出：本調査レポートにおいては、詳細なスタディーは行わないが、現時点で設定の4,000万円から様々な手段を講じて、コストダウンの検討が可能

	（千円）
収入	
使用料	**¥15,275**
有料興行使用料 - 釜石シーウェイブス/ラグビー	¥4,140
有料興行使用料 - ラグビー外	¥7,200
無料興行・その他スタジアム使用料	¥3,005
設備一部使用料	¥930
協賛収入	**¥20,000**
ネーミングライツ	¥10,000
その他協賛	¥10,000
補助金	**N.A.**
釜石市からの委託費用等	**¥10,000**
合計	**¥45,275**
支出	
人件費	**¥8,000**
維持管理費（芝管理費含む）	**¥20,000**
水/光熱/燃料費	**¥5,000**
消耗品・その他雑費	**¥7,000**
合計	**¥40,000**

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
III：事業収支と活用計画

使用料の検討

	プロ/有料興行	アマ/無料興行	加算金等 その他条件
収容4万人クラス カシマスタジアム 吹田スタジアム	¥1,700,000 ～ ¥4,500,000	¥400,000 ～ ¥1,500,000	• 入場料加算金10%程度 • 広告・物販等加算
収容2万人クラス 鳥栖スタジアム 花園ラグビー場	¥170,000 ～ ¥600,000	¥170,000 ～ ¥260,000	• 入場料加算無 • 広告・物販等加算有
岩手県/釜石市 釜石市球技場 いわぎん 北上競技場 あきぎん	¥40,000 ～ ¥210,000	¥18,000 ～ ¥87,000	• 入場料加算無 • 広告・物販等加算無

	プロ/有料興行	アマ/無料興行
釜石鵜住居復興スタジアム	¥100,000 ～ ¥150,000	¥30,000 ～ ¥50,000

試算で使用した想定料金

使用料(時間当たり)	
プロ	¥100,000
アマ	¥30,000
興行外利用	¥10,000
ピッチ一部利用	¥5,000
視察	¥500
広場	¥5,000
広場BBQ/一部利用	¥1,000
ティンバーラウンジ	¥5,000
オートキャンプ場	¥1,000
サブグラウンド	¥1,000

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
III：事業収支と活用計画

スタジアムの包括的な活用プラン

小 ← イベント頻度 → 大

大 ← イベント企業（参加人数） → 小

大イベント活用	小イベント活用	日常活用
有料興行を想定した数百名以上の集客目的イベント活用	100人程度の合宿や体験会、企業研修などの小規模イベント活用	数名～十人規模の地元住民を中心にした普段使いのスタジアム活用

スタジアム全体（ピッチ含む）活用

- **ラグビー利用**
  - 1 釜石SW興行
  - 2 その他ラグビー興行
  - 3 合宿/遠征
  - 4 イベント/国際交流
  - 5 企業研修
  - 6 ラグビー体験イベント・スクール
- **スポーツ利用**
  - 7 他スポーツ興行
  - 8 公共体育イベント
  - 9 他スポーツイベント
  - 5 企業研修
  - 10 他スポーツ体験イベント・スクール
- **その他利用**
  - 11 音楽興行
  - 12 その他イベント
  - 5 企業研修
  - 13 スタジアム見学・ツアー・視察

スタジアム機能の部分活用

- **スタジアム内広場**
  - 14 クラフト市・青空マーケット等各種イベント
  - 15 広場でBBQ
- **諸室（ティンバーラウンジ）**
  - 16 各種宴会
- **根浜側施設**
  - 17 オートキャンプ場利用
  - 18 サブグラ利用

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
Ⅲ：事業収支と活用計画

18タイプのイベント誘致を通じて、年間1500万円の使用料収入、50,000人の利用を目指す

No	イベントタイプ	概要	年間開催回数	回あたり来場数	年利用料収入	年総来場数
1	釜石SW興行	釜石シーウェイブスの公式戦	4	2,000	¥3,600,000	8,000
2	その他ラグビー興行	大学・トップリーグ・不惑・レジェンド・クラブラグビー等に他の有料ラグビー興行	2	1,500	¥540,000	3,000
3	合宿・遠征	高校・大学・トップリーグ・クラブチームなどの遠征時の練習試合などでの利用	5	100	¥900,000	500
4	イベント/国際交流	ラグビーを通じた様々な国際交流や各種イベント。アジアの子供たちを集めたラグビーイベントや海外高校生とのラグビーを通じた交流プログラム等	3	100	¥120,000	300
5	企業研修	市外の企業が企業研修の一環でスタジアムを利用。スタジアムのピッチを使ったスポーツイベントから、ラグビー体験、防災に関する学習まで幅広く実施	10	100	¥600,000	1,000
6	ラグビー体験イベント・スクール	様々な機会を通じた、スタジアムにおけるラグビー教室やラグビー体験のイベント	10	20	¥150,000	200
7	他スポーツ興行	サッカー、モータースポーツ、バイク・サイクル、クライミング、Xスポーツ、ドローンレース等、他のスポーツの企画イベントで、有料興行	1	3,000	¥1,800,000	3,000
8	公共体育イベント	釜石市が主催者となって、市民が参加できるスポーツイベント・体育イベント	2	3,000	¥540,000	6,000
9	他スポーツイベント	釜石市他、街づくり株式会社、地域の町内会、かまいしDMC、など市内のステークホルダーを中心に企画されるスポーツイベント	3	3,000	¥120,000	9,000
10	他スポーツ体験イベント・スクール	野球・サッカー・フィールドホッケー・等様々なスポーツでの各種小さな体験イベント	5	20	¥75,000	100
11	音楽興行	年に1度の有料での音楽興行	1	5,000	¥2,700,000	5,000
12	その他イベント	ミュージカル、オペラ、青空映画祭、花火鑑賞など、音楽以外の一発物のイベント	1	4,000	¥2,700,000	4,000
13	スタジアム見学・ツアー・視察	日々、釜石鵜住居復興スタジアムに立ち寄り、最大1時間程度の滞在時間で視察などを行う場合	50	20	¥500,000	1,000
14	クラフト市・青空マーケット等各種イベント	ピッチ横広場において、催事・展示のイベントが行われ、にぎわいを見せる	10	500	¥300,000	5,000
15	広場でBBQ	ピッチ横の広場において、家族連れなどがレンタルセットを借りてBBQを実施することができる	30	30	¥30,000	900
16	各種宴会	ティンバーラウンジを使って、漁港の忘年会、森林組合の各種会合、会議での利用等様々なシーンでの利用	50	20	¥500,000	1,000
17	オートキャンプ場利用	根浜海岸側のオートキャンプ場の利用	50	4	¥50,000	200
18	サブグラ利用	根浜海岸側のサブグラウンドの利用	50	4	¥50,000	200
					¥15,275,000	**48,400**

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
Ⅲ：事業収支と活用計画

18のイベントタイプ別の使用料・来場数計算根拠

No	イベントタイプ	年間開催回数	回あたり利用日数	回あたり利用時間	回あたり来場数	単位利用料	回あたり利用料収入
1	釜石SW興行	4	1	9	2,000	¥100,000	¥900,000
2	その他ラグビー興行	2	1	9	1,500	¥30,000	¥270,000
3	合宿・遠征	5	2	9	100	¥10,000	¥180,000
4	イベント/国際交流	3	1	4	100	¥10,000	¥40,000
5	企業研修	10	1	6	100	¥10,000	¥60,000
6	ラグビー体験イベント・スクール	10	1	3	20	¥5,000	¥15,000
7	他スポーツ興行	1	2	9	3,000	¥100,000	¥1,800,000
8	公共体育イベント	2	1	9	3,000	¥30,000	¥270,000
9	他スポーツイベント	3	1	4	3,000	¥10,000	¥40,000
10	他スポーツ体験イベント・スクール	5	1	3	20	¥5,000	¥15,000
11	音楽興行	1	3	9	5,000	¥100,000	¥2,700,000
12	その他イベント	1	3	9	4,000	¥100,000	¥2,700,000
13	スタジアム見学・ツアー・視察	50	1	1	20	¥500	¥500
14	クラフト市・青空マーケット等各種イベント	10	1	6	500	¥5,000	¥30,000
15	広場でBBQ	30	1	1	30	¥1,000	¥1,000
16	各種宴会	50	1	2	20	¥5,000	¥10,000
17	オートキャンプ場利用	50	1	1	4	¥1,000	¥1,000
18	サブグラ利用	50	1	1	4	¥1,000	¥1,000

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
III：事業収支と活用計画

スタジアムの活用最大化・イベント誘致のための6つのアプローチ

大イベント活用

有料興行を想定した数百名以上の集客目的イベント活用

①東京営業部隊・担当の配置（副業職員でOK）
- ラグビー興行:日本ラグビー協会また、他スポーツ興行: 各スポーツ協会、さらに音楽イベントにおけるプロモーター・レコード会社等、主要顧客は東京ベースのため、副業でスタジアムへのイベント誘致を行う東京営業チームが必要

小イベント活用

100人程度の合宿や体験会、企業研修などの小規模イベント活用

②スペースマーケット等ウェブ活用
- 場所貸しネット大手のスペースマーケット社と組み、東京の企業の利活用などをウェブ用で促進

①’ 東京営業担当
- 企業研修などでの利用も東京営業担当がカバーすることで東京から釜石へのイベント誘致が可能

③ 企画提案募集
- 広く市民・企業からイベントでの活用提案を受ける

日常活用

数名～十人規模の地元住民を中心にした普段使いのスタジアム活用

④ 市民向けネット予約システム
- 市民が気軽にスタジアムを活用できるようにインターネット/モバイルでの簡易な予約サイトを作成

⑤ 市民スタジアム盛り上げチーム組成
- 町内会、DMC、街づくり、シーウェイブス、森林組合、地元企業など主要ステークホルダーからなるイベント誘致チームを組成

⑥ 民間主導はスタジアム活用の最大化のための必須条件
- 一人でも多くの企業・団体・個人にスタジアムを活用してもらい、一円でも使用料収入を確保しようという思想・姿勢には民間企業のスタジアム運営における関わりが必須

（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
Ⅲ：事業収支と活用計画

協賛①：ネーミングライツの販売に関して

2万人以下収容の地方スタジアムにおける命名権販売金額事例

命名権によるスタジアム・アリーナ名	場所	収容人数	協賛金額	契約年数
明示北海道十勝オーバル	北海道	3000人	年 1,000万円	4
北海きたえーる	北海道	8000人	年 700万円	1
マエダアリーナ	青森県	5348人	年 500万円	2
ホットハウススーパーアリーナ	宮城県	7063人	年 2,030万円	2
山形蔵王タカミヤホテルズスタジアム	山形県	不明	年 500万円	3
NDソフトスタジアム山形	山形県	20316人	年 2,100万円	4
ケーズデンキスタジアム水戸	茨城県	12000人	年 2,100万円	5
正田醤油スタジアム群馬	群馬県	15253人	年 700万円	5
山梨中銀スタジアム	山梨県	17000人	年 2,000万円	5
kankoスタジアム	岡山県	20000人	年1,000万円	5

釜石鵜住居復興スタジアム 命名権の販売に関する基礎方針案

1. ネーミングライツ協賛は、スタジアムの安定運営・収支の健全化にとって極めて重要な要素を占めるため、商品といて販売を行うべき
2. キャパシティー6,000人に対して、ラグビーワールドカップ2019日本大会開催スタジアムとしてのネームバリューならびに釜石シーウェイブスというホームチームの試合を通じたスタジアムへの安定的な来場などを前提に、**目標 年間1,000万円への販売**を目指す
3. 収益の安定化の観点から、**4-5年契約**（契約金額 4,000 – 5,000万円）での販売を目指す
4. **ラグビーワールドカップ前に販売を開始することで、より高い値付けでの販売を可能にする**
5. こども未来基金寄付企業ならびに、8月19日スタジアムオープニングイベント協賛企業を中心に、**早急に営業・アタックリストを作成し、GW明けあたりから営業活動を開始できる体制**を構築する

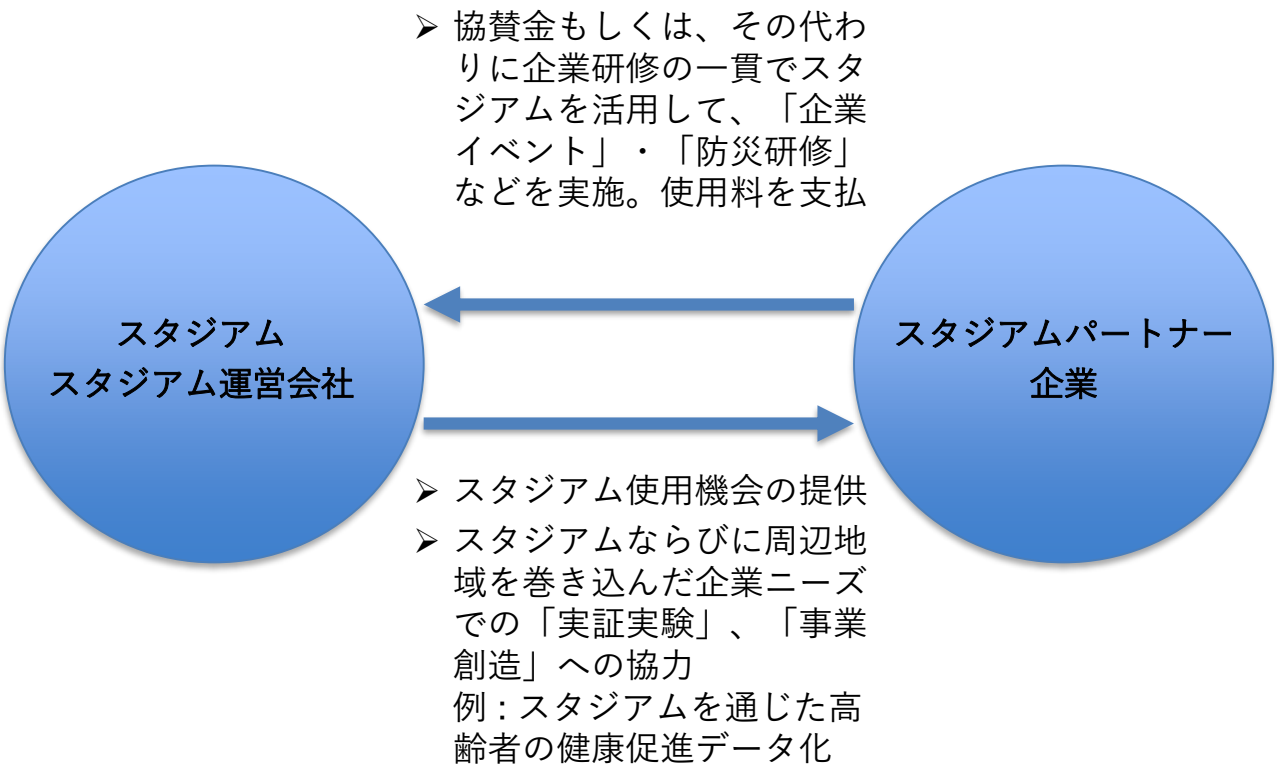
（3）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
III：事業収支と活用計画

協賛②：その他の協賛の販売に関して

釜石鵜住居復興スタジアム その他の協賛の販売に関する基礎方針案

1. 2022年の時点で、（命名権とは別に）協賛金額の**総額年間 1,000万円（100万円 x 10社）**を目指す
2. 単に看板を出す「スポンサー」という考え方ではなく、**「スタジアムパートナー」**として一緒にスタジアムを活用していくコンセプト（下記詳細）
3. **ラグビーワールドカップ前に販売を開始することで、より高い値付けでの販売を可能にする**
4. こども未来基金寄付企業ならびに、8月19日スタジアムオープニングイベント協賛企業を中心に、**早急に営業・アタックリストを作成し、GW明けあたりから営業活動を開始できる体制**を構築する

「単なるスポンサー」ではなく「スタジアムパートナー」へ。



（３）釜石鵜住居復興スタジアム運営計画
Ⅳ：RWC2019前の直近のアクション

RWC2019前までに必要なアクション

1. スタジアムの今後の運営計画の詳細化・民間委託に向けた導入可能性調査、各種スタジアム収益化に向けた民間事業者へのヒアリングなどをすすめるためのリソース・人員の確保（業務委託含む）をする

2. 民間事業者へのヒアリング、指定管理・設置管理同一主体として管理が可能な共同体組成にむけたフィージビリティースタディーを行う

3. 指定管理・設置管理の組み合わせのモデルにおけるメリット・デメリット、実際に進めるにあたってのプロセス、経済性検討などを専門業者を雇用し、検討を進める

4. （上記１とともに）既に子供みらい基金やキックオフイベントなどを通じて関係がある企業に対して、協賛営業を行う（7月27日日本代表戦などを活用）

5. 収入・支出予測のさらなる詳細化を行う

6. 2020年3~10月までのイベント誘致・確定作業を行う

目次

I.　プロジェクト概要ならびに確認

II.　釜石鵜住居復興スタジアムに関する報告

III.　釜石市内、他スポーツ施設に関する報告

3.釜石市内スポーツ施設の状況と提案

<報告内容>

(1) . 調査実施事項概要

(2) .釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状
- 釜石市のスポーツ施設：ハードの状況
- 釜石市のスポーツ施設：運営・利活用の状況

(3) .関係者インタビュー

(4) .他自治体の事例調査
- 岩手県紫波町
- 静岡県藤枝市
- 新潟県十日町市
- 新潟県妙高市

(5) .見えてきた課題
- 管理・運営における良点と課題
- 利用における良点と課題
- 釜石市におけるスポーツ参加は十分か？
- 釜石市には十分なスポーツ施設があるか？

(6) . 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
- 中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり
- 施設の幅広い利活用の促進
- 点の管理から面の管理へ

(1) 調査実施事項概要

釜石市のスポーツ施設についての基礎情報（施設の管理・利用状状況、ハードの状況）の調査に加え、釜石市市民生活部 生涯学習文化スポーツ課、施設の指定管理者である協立管理工業株式会社、釜石市体育協会と、主な利用者である釜石市民へのインタビュー、他自治体の事例調査を行った。

基礎情報の把握

釜石市民
- 健康福祉・スポーツ参加に関する現状

各スポーツ施設
- 基礎情報
- 運営状況
- 改修状況
- 利用者数の推移
- 利活用状況

インタビュー

行政
- 生涯学習文化スポーツ課

指定管理者
- 協立管理工業
- 体育協会

利用者
- 地域住民

他事例調査

視察・インタビュー
- 岩手県紫波町：オガール

参考事例
- 静岡県藤枝市
- 新潟県十日町市
- 新潟県妙高市

(2) 釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状

釜石市の健康福祉に関する現状

釜石市では、釜石市健康増進計画 『健康かまいし２１プラン』（平成２６年３月）を策定し、「市民一人一人が、健康で安心して暮らせるまち」 の実現に向けて、健康寿命の延伸や早世の減少を目指している。
同プラン策定にかかる調査より、以下の課題が上がっている。

全体領域

課題	対応・今後の取り組み
「健康である」と感じている人の割合が、震災後に大きく減少	多角的な健康づくりへの取り組み
全死亡者数における65歳未満死亡者数の割合は、年々減少	継続的な健康維持
がん検診の受診率は低迷しており、検診種別によって受診率に差がある	受診勧奨の強化

運動領域

課題	対応・今後の取り組み
全く運動していない人の割合は減少	運動不足解消につながる運動教室などの開催を継続実施
20～64歳男性の肥満割合が、平成20年度より10％以上増加	運動に取り組みやすい環境づくりが必要
男性の肥満の増加や運動不足解消	

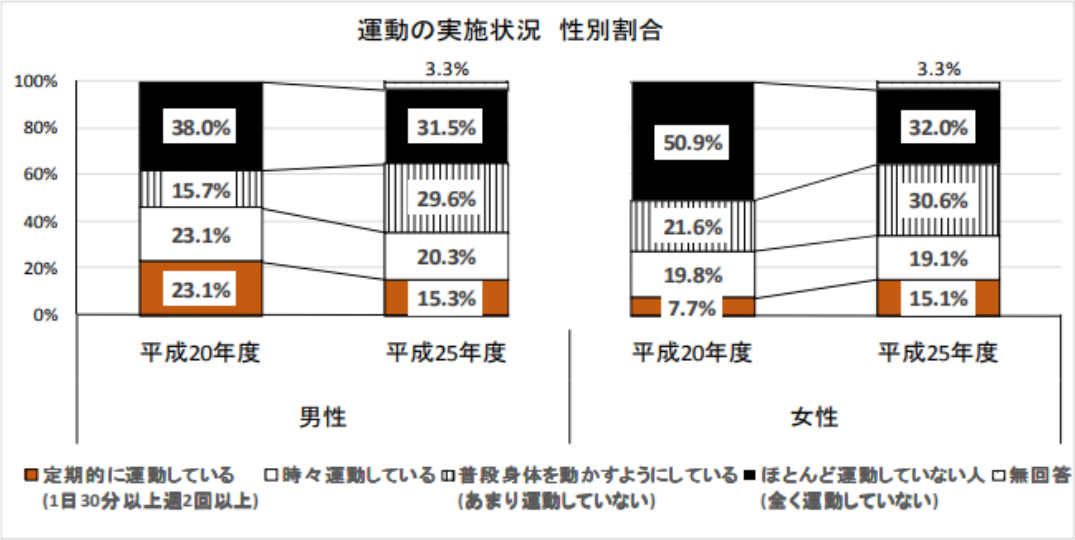
(2) 釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状

釜石市市民のスポーツ参加に関する現状

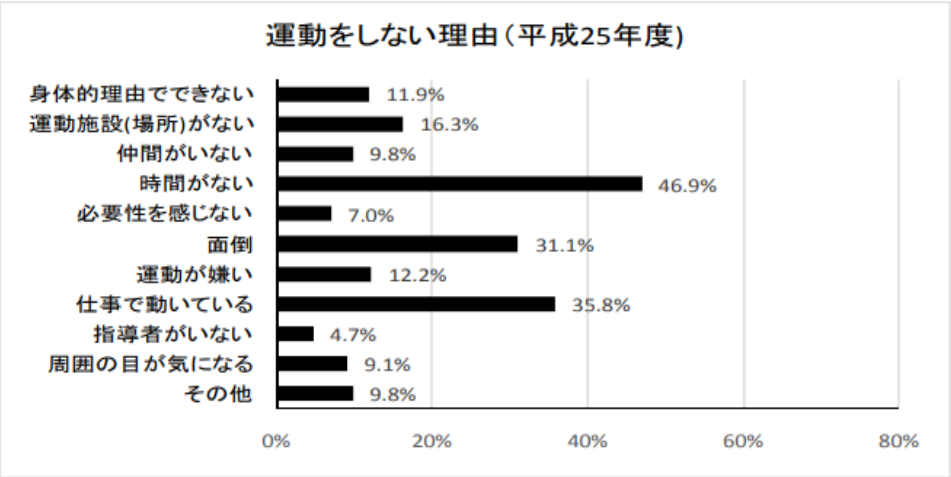
釜石市は 『健康かまいし２１プラン』 策定にあたり、釜石市市民の運動実施状況のアンケートを行っている。

アンケート結果によると、まったく運動していない人の割合は3割で、男女ともに平成20年度から減少している。

一方で、定期的な運動をしている人の割合は1.5割であり、男性は平成20年度から7.8ポイント減少、女性は7.4ポイント増加している。



運動をしない理由は、①時間がない、 ②仕事で動いている、③面倒、であり、間的制約とモチベーション不足が主な理由となっている。



健康かまいし 21 アンケート調査
- 平成25年10月
- 20～64歳 4,000人無作為抽出
- 郵送による調査
- 回収率 30.6%

(2) 釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状

釜石市のスポーツ施設：ハードの状況

釜石市のスポーツ施設は、指定管理者によって管理・運営されている。指定管理者へのインタビュー・現地視察から得た現時点のハード改修状況・課題は以下である。

施設	ハードの状況・課題
市球技場	人工芝のサッカー場、ラグビー場を1面ずつ備え、ともに整備されている。周囲は延長580mの遊歩道になっており、ウォーキングなど軽い運動に利用可能。利用者に対して駐車場が少ない。
球技場クラブハウス	シャワー、ロッカールーム2室、トイレ、ラウンジ、バルコニー、会議室を備える。清潔に整備され、管理人が常駐している。市球技場と同じ敷地内にあり、駐車場が少ない。
市民弓道場	県大会ができるレベルの設備を備える。弓道協会が自主的に使用しており非常に綺麗に管理されている。
市営プール	屋外2つ、屋内2つのプール、簡易ジムを備え、整備が行き届いている。1月にボイラー取替工事を完了。
市民交流センター体育館	耐震仕様への改修、体育館の床の張り替えを完了。自転車等を使い子供だけでアクセスできる立地。一方、狭い急坂の上にあるため大型車・バスの乗入不可。冬は道路凍結でアクセス困難。
市民交流センター文化施設	集会室、大・小会議室、研修室、宿泊施設を備える。改装を終えて清潔に整備され、管理人が常駐している。体育館同様狭い急坂の上にあり大型車・バスの乗入不可。冬は道路凍結でアクセス困難。
平田公園野球場	グラウンドは整備されている。場内放送の利用、ナイター利用が可能。仮設住宅に隣接しているため、騒音等の配慮は必要。2020年のスポーツ少年団の大会開催に向けた改修が必要。
平田公園クラブハウス	大会議室、小会議室、シャワーを備えるが、デッキの木材の腐敗など経年劣化が見られる。*外観のみ確認、要調査
昭和園クラブハウス	現在は体育協会の事務所として機能している。施設の予約、施設利用時のカギの受け渡しができる。
中妻体育館	体育館の床の張り替えとトイレのリニューアルを完了。昭和園クラブハウスにてカギを貸出、利用者が自主的に使用している。綺麗に管理されている。

(2) 釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状

釜石市のスポーツ施設：運営・利活用の状況

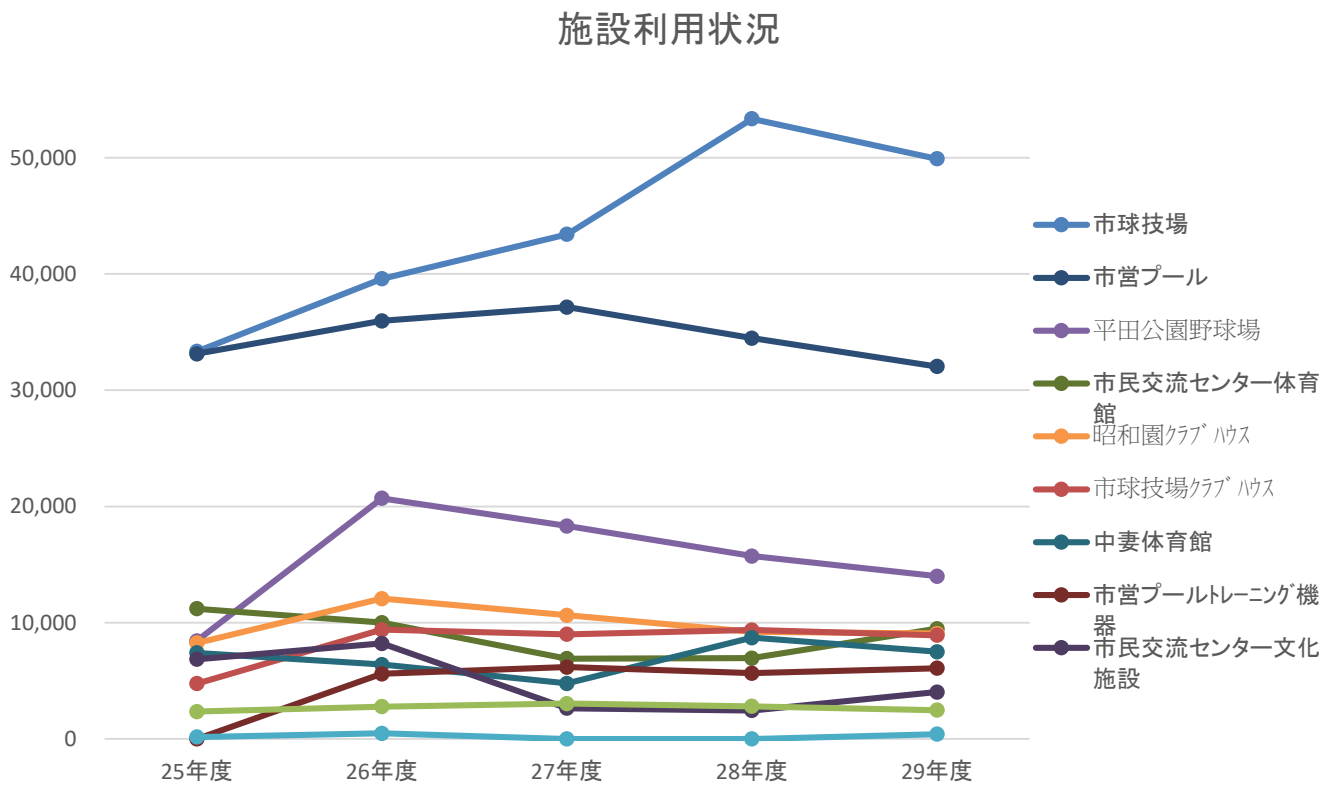
釜石市のスポーツ施設は、指定管理者によって管理・運営されている。指定管理者へのインタビューから得た現時点の利活用状況は以下である。

施設	利活用状況
市球技場	社会人・小中学生のクラブチーム、シーウェイブス、シーウェイブスジュニアが利用している。土日夜間はほぼ練習で埋まるが空き時間の一般予約は可能。イベントが入ると練習との調整が必要となる。
球技場クラブハウス	主にクラブチーム、シーウェイブス関係者の練習前後や会議、イベントが利用している。
市民弓道場	弓道協会が利用している。弓道以外に柔道の県大会などに利用可能だが、宿泊施設不足に懸念があり、現状予定なし。
市営プール	4つのプールのうち屋内2つは通年利用可能。一般利用者のほか、水泳教室、アクアビクス、泳力測定に利用される。プール、ジムともに市内外からの利用があり、夜間はサラリーマン・出張者の利用がある。
市民交流センター体育館	主に一般予約によって市民が利用している。バスケットボール、バレーボール、 バドミントン、 卓球、バウンドテニス、タグラグビーなど多様なスポーツに利用可能。土日祝日は9割以上の稼働率。
市民交流センター文化施設	集会室、大・小会議室、研修室は資格試験や研修、セミナーに利用される。宿泊施設があるがボランティアや市の関係者の利用に限られ、一般利用は不可となっている。
平田公園野球場	市の野球クラブチーム（一般14チーム、こども5チーム）が利用している。利用期間は4月1日から11月30日までで冬季は休場している。
平田公園クラブハウス	野球クラブ関係者の練習前後、会議、イベントなどが利用している。
昭和園クラブハウス	体育協会の事務所として利用されている。
中妻体育館	釜石中学校、市民のスポーツクラブ（卓球、フットサル等）が利用している。平日土日を問わず9割以上の稼働率。

(2) 釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状

釜石市のスポーツ施設：運営・利活用の状況

釜石市のスポーツ施設の利用状況は、過去5年間で以下のように推移している。市球技場の利用者は増加傾向にあったが28年度の53,339人をピークに横ばいとなっている。体育館の利用者数は改修工事に影響されるものの、安定して利用されている。



区　　分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
市球技場	33,340	39576	43,406	53,339	49,902
市球技場CH	4,760	9402	9,002	9,371	8,926
市民弓道場	2,357	2,783	3,046	2,808	2,487
平田公園野球場	8,434	20,707	18,324	15,731	14,000
平田公園CH	167	487	0	0	424
昭和園CH	8,268	12,077	10643	9231	9,075
市営プール	33,135	35,959	37,151	34,483	32,039
市営プールﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ機器	-	5,611	6,189	5,661	6,092
交流センター体育館	11,205	10,007	6,907	6,952	9,487
交流センター文化施設	6,858	8,222	2,643	2,454	4,038
中妻体育館	7,410	6,402	4,782	8,717	7,505

(3) 関係者インタビュー

釜石市市営スポーツ施設のステークホルダーへのインタビュー

主なステークホルダーである、所有者（市の職員）、指定管理者、利用者（市民）へインタビューを行い、スポーツ施設の運営・利活用における課題ヒアリング、要望の洗い出しを行った。

インタビュイー

所有者
- 生涯学習文化スポーツ課

指定管理者
- 協立管理工業
- 体育協会

利用者
- 地域住民

	区分	氏名	所属
1	所有者	村上純幸	生涯学習文化スポーツ課
2	所有者	中島佐和子	生涯学習文化スポーツ課
3	管理者	小笠原重子	協立管理工業
4	管理者	小笠原拓生	協立管理工業
5	管理者	佐々木研一	協立管理工業
6	管理者	下村恵寿	釜石市体育協会
7	利用者	久保竜太	かまいしDMC
8	利用者	佐々木雄治	根浜町会長
9	利用者	佐々木聡	釜石ライフセービング協会
10	利用者	三上雅彦	岩手県トライアスロン協会
11	利用者	伊藤聡	三陸ひとつなぎ自然学校
12	利用者	柏木未来	三陸ひとつなぎ自然学校
13	利用者	土肥守	国立釜石病院
14	利用者	佐々木麻貴子	国立釜石病院

3.釜石市内スポーツ施設の状況と提案

<報告内容>

(1) . 調査実施事項概要

(2) .釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状
- 釜石市のスポーツ施設：ハードの状況
- 釜石市のスポーツ施設：運営・利活用の状況

(3) .関係者インタビュー

(4) .他自治体の事例調査
- 岩手県紫波町
- 静岡県藤枝市
- 新潟県十日町市
- 新潟県妙高市

(5) .見えてきた課題
- 管理・運営における良点と課題
- 利用における良点と課題
- 釜石市におけるスポーツ参加は十分か？
- 釜石市には十分なスポーツ施設があるか？

(6) . 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
- 中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり
- 施設の幅広い利活用の促進
- 点の管理から面の管理へ

(4) 他自治体の事例調査

岩手県紫波町

人口…33,143人　世帯数…12,040世帯

人口は平成17年をピークに安定傾向にあるが、ゆるやかに高齢化が進んでいる

高齢化が進み、何もしなければ人口は3割減、財政規模の大幅縮減という試算から起死回生

<オガールプロジェクト>

紫波中央駅前の休眠町有地をPPPの手法で町の財施負担を最小限にしながら、公共施設含めた複合施設を官民連携で開発する取り組み。

入居する優良テナントを決めてから、建物の規模や建設費用を算出。建設費用のコストカットのため、民間で施設建設したうえで公共施設部分を紫波町に売却している。

売却した費用以外は、東北銀行や政府系金融機関である一般財団法人民間都市開発推進機構（MINTO機構）などの融資で賄い、補助金に頼らないまちづくりを実現している。

オガールの主な施設…紫波町役場、スポーツ事務所、図書館、駐車場、子育て施設・塾、ショップ・レストラン、スタジオ（交流館）、オガールタウン、クリニック、エネルギーステーション、広場、薬師神社、サッカー場、バレーボール専用アリーナ、宿泊施設

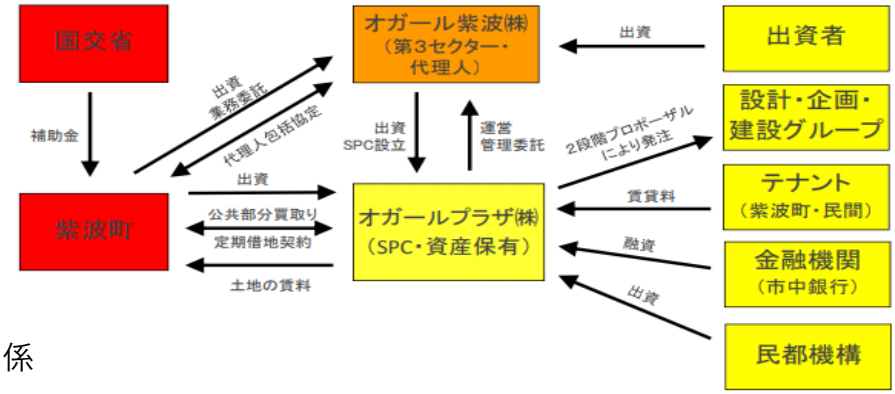
他自治体のスポーツ施設を活用したまちづくり、官民連携プロジェクトの成功事例として、岩手県紫波町の複合施設「オガール」の視察、関係者へのインタビューを行った。

	氏名	所属
1	鎌田千市	紫波町企画総務部企画課
2	藤原護	株式会社寿広
3	菊地圭二	株式会社寿広

(4) 他自治体の事例調査

岩手県紫波町

オガールプラザ（官民複合施設）の事業ストラクチャー



権利関係

参考：鎌田 千市さまご提供
『いろいろな機能が詰まった複合開発「オガール」』

＜オガールの成功要因＞

1. 金融機関のチェック

【一般的な公的事業】	【オガール】
公的資金を利用して、施設の利用用途・要否や採算モデル問わず公共施設を建設。	民間の金融機関の厳しいチェックを入れ徹底的な採算モデルをデザイン。集客力の高い施設の運用を可能に。

2. 工事費のカット

工事費は使えるだけ使う。補助金がこれだけ取れた、からスタート。10億円もらえたら10億円使いきる。	民間の特別目的会社が建設・工事を実施した後、公共施設部分を紫波町に売却。2-3億円のコストカット。

3. 逆算方式

補助金を使って稼働率の見積もりが甘いまま施設を建設。空きテナントが目立ち、維持費が財政負担に。	テナントを固めてから建物の規模や建設費用を算出。採算の取れる施設しか作らない。

4. バレーボール専用アリーナ

紫波町内に普通の体育館は20カ所あり、町内でさえも競争。	小さなマーケットであるがゆえにライバルが少ない。“バレーボール専用体育館”としたことで、高稼働率を実現。

(4) 他自治体の事例調査

静岡県藤枝市
人口…145,851人　世帯数…59,125世帯

人口は平成28年をピークに安定傾向にあるが、ゆるやかに高齢化が進んでいる
特定健診やがん検診受診率が全国的にトップクラス

<ふじえだプロジェクト>
「自分の健康は自分で守る」という意識の醸成を図るとともに、健康行動の定着化と普及・促進を目す。運動、食事、社会参加の推進、健診受診率向上とにぎわいづくりをキーワードにした3つの事業を主としたプロジェクトである。

参考：
https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kenko/keikaku/KE012/1447731260872.html

1. 歩いて健康「日本全国バーチャルの旅」
東海道、奥の細道、四国お遍路など多彩なバーチャルコースを用意
⇒楽しみながら、目標を持って行う運動習慣を推進

2. ふじえだ健康スポット20選
市民の公募により「ふじえだ健康スポット20選」選定
⇒市民のウォーキング熱を向上させながらに地域の宝を発掘、健康・予防の意識づけと賑わいづくりを促進

3. ふじえだ健康マイレージ
楽しみながら“健康”と“お得”をゲットできる健康づくりツールの提供
県、市と民間の事業所や店舗が協働し、ポイント還元の方法を考案してサービスを拠出
紙版とWeb版かを選択でき、Web版により若い世代に健康情報を提供
⇒「健康・予防」の意識づけと健康行動実践者の拡大、定着化
⇒協力店を増やすことで地域・産業の活性化と元気あるまちづくり

(4) 他自治体の事例調査

新潟県十日町市

人口…53,107 人　世帯数…19,793世帯

人口はゆるやかな減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいる
平成 17年に 5 つの市町村が合併、地区振興会や地域協議会による市民主体の街づくりが盛ん

2020年のオリンピック開催決定を契機に、スポーツイベントや合宿を多数企画し、積極誘致・積極参加・支援・PRを進めることを活動指針としている。

参考：
https://tokamachi-sc.jimdo.com/

シャッター通りをメイン会場としたウォーキング大会を企画するなど、地域のスポーツ産業と観光産業を同時に活性化するためのコミッション。

官民連携で既存のスポーツ施設の最大活用を目指している。「組織化・基盤整備事業」、「ワンストップ化事業」、「大会・イベント開催・支援事業」などに整理し、バラエティに富んだ事業を並行して計画的に推進している。
　民間による指定管理者へのトレーニングを実施し、施設やサービスをリファインしたり、提携キャンプ場として民間のネームバリューを活用し利用者を増やすなどの工夫をしている。

例. アウトドア用品メーカーのスノーピークが設立した「スノーピーク地方創生コンサルディング」との連携

指定管理者へのトレーニングを行い、キャンプ場事業などを推進。十日町は雪が多いため、6月からの営業であったところを4月末からの営業に変更。十日町の環境を楽しめるよう、残雪キャンプといった企画を立ててスノーピークの会員を集客。雪が溶けた後には山菜採りキャンプを企画。施設の稼働率と集客力向上に貢献。

(4) 他自治体の事例調査

新潟県妙高市

人口…32,502人　世帯数…12,392世帯

30年間で人口は1万人近く減少し、少子高齢化が進んでいる
健診受診率は約6割と県内20市中トップの受診率を誇り、15%の医療費削減を実現

官民連携で健康条例と健康増進計画を策定し、様々な事業に取り組むことで、検診受診率の向上や医療費削減に効果をあげている。

参考：
http://www.city.myoko.niigata.jp/health/173.html

1. 元気いきいき健康条例
「自分の健康は自分で守り、つくる」ことを自覚して、一人ひとりが自ら健康づくりに取り組む。市民、地域コミュニティ、事業者及び市は、それぞれの責務と役割に基づき、互いに連携することを基本理念とする。

2. 健康保養地プログラム
妙高の豊かな温泉、自然の中で身体を動かし、市民も妙高市を訪れた人も元気になってもらうことを目指す。

3. 妙高健康エコマイレージ
健康・環境イベントに参加するとポイントが貯まり、このポイント数に応じて景品と交換することができる。

4. 地域や市民団体が主体となった健康づくり・スポーツ活動
市内の各地域から推薦された健康づくりリーダーが中心となり、各地域で健康教室などの自主活動を行う。また市内のNPOがウォーキングやスポーツイベントなどを開催している。

5. 大学や民間企業等との連携による健康都市推進
市の健康づくり教室などでは新潟県立看護大学と連携し、教室で実施したプログラムの効果検証や研究を行っているほか、上智大学と連携して市民対象のウォーキング講習会などを開催。

3.釜石市内スポーツ施設の状況と提案

<報告内容>

(1) . 調査実施事項概要

(2) .釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状
- 釜石市のスポーツ施設：ハードの状況
- 釜石市のスポーツ施設：運営・利活用の状況

(3) .関係者インタビュー

(4) .他自治体の事例調査
- 岩手県紫波町
- 静岡県藤枝市
- 新潟県十日町市
- 新潟県妙高市

(5) .見えてきた課題
- 管理・運営における良点と課題
- 利用における良点と課題
- 釜石市におけるスポーツ参加は十分か？
- 釜石市には十分なスポーツ施設があるか？

(6) . 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
- 中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり
- 施設の幅広い利活用の促進
- 点の管理から面の管理へ

(5) 見えてきた課題

管理・運営における良点と課題

1．リソース・コスト

良点① 多様な人材の柔軟な活用
- シルバー人材の活用など、コスト削減の施策が地域住民の雇用につながっている
- 協立管理工業はビル管理会社であるため、清掃を自社リソースで行うことができる

課題① プロモーション人材/資金の不足
- スポーツ関連の自主企画を考案・実行できる人材がいない
- 広告・宣伝をおこなうための人手・予算がない
- 民間（例.コナミ）を呼びたくても利益を上げられる確証がない

2．収益性

良点② 指定管理者の自助努力
- 電気契約の見直しによるコスト削減など、管理者が自主的に収益性の向上に努めている
- 安価な利用料で市民に質の良いスポーツ施設の提供を行うことができている

課題② 増収が困難
- 利用料は条例で決まっているので値上げができず、増収手段にならない
- 公共施設＝安いというイメージが利用者にあり、採算のとれない構造になっている
- 自主事業としてイベントを企画しても、公共事業なのでお金は稼げない前提がある
- 会場貸し（例.テレビに映るような試合）はできないルールになっている＝儲けるための利用がNG
- 興行などでチケット販売する場合、代金は主催者が決めるがマージンは取れない

(5) 見えてきた課題

管理・運営における良点と課題

3．安全で快適な施設の担保

良点③ 管理者による自主的な安全確保と施設の質の担保

- 指定管理者が現場に定期的に赴くもしくは常駐スタッフがいるため、改修が必要な個所に気づきやすい
- 細かな修理は市への申請を介さず自主的に行い、利用者の安全と快適な利用環境を維持している

課題③ 改修計画が不透明

- 担当課の計画作成にあたる人材不足などの要因により、市で各施設の改修スケジュール・計画を立てられていない
- 市の担当者の人事異動があるため、計画作成と計画実行を継承していくことが困難
- 改修の必要性は感じているが、どこをどのように何に向けて改修が必要というところまで落とせていない
- 施設の老朽化が進み管理業者から修理のリクエストがあっても、対応スピードが遅い
- 不慮の施設不備のリスクがある＝使えない期間が長くなる、事故につながる

4．施設の立地

良点④ 広大な敷地と多様なアクセス方法

- 球技場や野球場、プールなどは広い土地に建てられ近隣住宅への騒音リスクが少ない
- ほとんどの施設に駐車場が完備され、様々な手段でのアクセスが可能（バス、車、自転車など）

課題④ アクセスしづらい立地条件と外部からのイメージ

- 狭い坂の上にあり大型車・バスのアクセス、冬場の路面凍結時のアクセス不可（交流センター）
- 駐車場が施設から離れているため、路上駐車が多い（球技場）
- 県大会を誘致しても市内に宿泊施設が足りない
- アクセスが良くない、遠い、泊る所がない、という他市町村からのイメージ

(5) 見えてきた課題

管理・運営における良点と課題

5．利用・予約方法

良点⑤ インターネット予約の活用と柔軟な予約対応

- インターネットから予約状況のほか、利用状況・イベント情報の閲覧ができる。
- インターネットから空き状況に応じて直接予約ができる。
- インターネット予約の締切後や当日の急な利用希望の場合は電話で予約ができる。

課題⑤ 一般利用方法がわかりづらい

- ネット予約を利用するために先に紙での利用者登録が必要
- 市のHPからネット予約可能だが予約ページの場所がわかりにくい
- 電話予約は可能だったりそうでなかったり施設によってまちまち
- 宿泊施設はボランティアや市の関係者の使用のみで一般利用は不可（交流センター）

6．施設の有効活用

良点⑥ 施設利用の豊富なバリエーション

- プールの施設内にトレーニング機器を置く、球技場を遊歩道にしてウォーキング、ランニングに利用できるようにするなど、バリエーションのあるスポーツを楽しめる工夫がされている
- 管理者主導で年間スケジュールを計画、把握、調整することで、クラブチームの練習、イベント、一般利用がうまく割りあてられ、高い稼働率につながっている

課題⑥ 施設活用の効率性が不十分

- 夜間・土日利用は埋まっているが平日日中の利用が少ない（球技場）
- 利用者がシェア利用をしたがらない傾向にある（球技場）
- 文化施設があるが市やボランティア関係者の利用のみであり、一般開放されていない（交流センター）
- 宿泊施設があるが夜間の人員配置が必要なこともあり、あまり稼働していない（交流センター）
- 国体・県大会ができるレベルの施設があるが、市内の宿泊施設不足の懸念から誘致に至っていない

(5) 見えてきた課題

管理・運営における良点と課題

7. 潜在的な利用者への働きかけ

良点⑦ 地元密着型の広報

- 市の広報、フライヤー、新聞といった多くの市民に届きやすい媒体でイベント告知/報告を発信している
- 広報に同じ媒体を継続利用することで、低コストで定期的な広告掲載を実現している

課題⑦スポーツに興味がない層・若者への働きかけが不十分

- 若い世代はデジタルでの情報収集がメインであり紙媒体に目を通さないため、情報が届きにくい
- そもそも運動をしない人、興味がない人がスポーツ施設に足を運ぶためのきっかけづくりが不十分

(5) 見えてきた課題

釜石市におけるスポーツ参加は十分か？

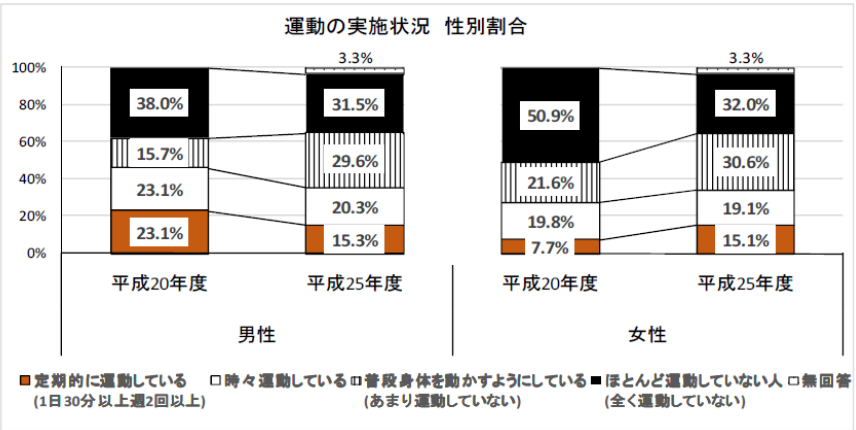
笹川スポーツ財団の調査データ『スポーツライフに関する調査2016』によると、2016年の運動・スポーツ実施について47.5％が週2回以上と答えている。
対して釜石市の『健康かまいし21 アンケート調査（平成25 年度）』によると、定期的に運動している（1日30分以上週2回以上）と答えたのは、15.2%である。

調査対象や時期の違いはあるものの、定期的に運動している人の割合には30％の開きがあり、釜石市におけるスポーツ参加は不十分といえる。

(参考1) 笹川スポーツ財団
『スポーツライフに関する調査2016』

【図1】定期的な運動・スポーツ実施率の年次推移

(参考2) 釜石市
『健康かまいし21 アンケート調査（平成25 年度）』



出典：健康かまいし 21 アンケート調査 （平成 20 年度/平成 25 年度）

(5) 見えてきた課題

釜石市には十分なスポーツ施設があるか？

屋外スポーツにおいては、市の球技場を核クラブチームが使用しているほか学校開放の利用が可能。震災後、テニスコートは復興住宅になり、陸上競技場は人工芝化されて球技場となってしまったため現存しないが、近隣の市の施設を利用可能である。
屋内スポーツにおける施設の需要は高いが、根浜に新しく体育館ができることで需要はカバーできると考えられる。

屋外スポーツ	サッカー	野球	テニス	ラグビー	陸上競技
施設	球技場	野球場	ー	球技場、スタジアム	ー
状況	クラブチームは市の球技場を定期利用。学校開放の利用可能。	少年野球、社会人野球ともに野球場（冬場はクローズ）を利用。学校開放の利用可能。	橋野に野外テニス場があるのみ。学校開放の利用可能。	市の球技場、釜石鵜住居復興スタジアムを利用可能。	陸連から建設の要望はあるが、コストに見合う需要があるか要検討。記録会は遠野・宮古の競技場を利用可能。

屋内スポーツ	バレーボール	バドミントン	卓球	バスケットボール	水泳
施設	体育館	体育館	体育館	体育館	プール
状況	交流センター、中妻体育館、根浜の体育館を利用可能。	交流センター、中妻体育館、根浜の体育館を利用可能。	交流センター、中妻体育館、根浜の体育館を利用可能。	交流センター、中妻体育館、根浜の体育館を利用可能。	市営プールを利用可能。

(5) 見えてきた課題

釜石市には十分なスポーツ施設があるか？

笹川スポーツ財団の調査データ『都道府県のスポーツライフ・データ（2010～2016）』によると、岩手県民へのアンケートにおける過去1年間に1回以上実施した運動・スポーツ種目の上位10種目はウォーキング、散歩、体操、筋力トレーニング、登山、ボウリング、ジョギング・ランニング、バドミントン、キャッチボール、バレーボールである。

近年のスポーツ施設利用者数推移からは大きな利用者数増加傾向は見られず、屋内スポーツの需要については体育館の新設により解決される。
岩手県民のスポーツ趣向は競技型よりもエクササイズ型であるため、施設の増設よりも既存施設の活用を強化しスポーツを楽しむ機運を官民連携で高めていくことが重要である。

過去一年間に１回以上実施した運動・スポーツ種目

順位	岩手県	
1位	ウォーキング	23.86%
2位	散歩（ぶらぶら歩き）	20.45%
	体操（軽い体操、ラジオ体操など）	20.45%
4位	筋力トレーニング	9.09%
5位	登山	7.95%
	ボウリング	7.95%
7位	ジョギング・ランニング	6.82%
	バドミントン	6.82%
9位	キャッチボール	5.68%
	バレーボール	5.68%

現在行っている運動・スポーツ種目も含めて、今後行いたい運動・スポーツ種目

順位	岩手県	
1位	散歩（ぶらぶら歩き）	27.27%
2位	ウォーキング	18.18%
	体操（軽い体操、ラジオ体操など）	18.18%
4位	筋力トレーニング	15.91%
	登山	15.91%
6位	ヨーガ	12.50%
7位	水泳	10.23%
8位	ジョギング・ランニング	9.09%
	釣り	9.09%
10位	ゴルフ（コース）	7.95%

3.釜石市内スポーツ施設の状況と提案

<報告内容>

(1) . 調査実施事項概要

(2) .釜石市の健康福祉・スポーツ参加に関する現状
- 釜石市のスポーツ施設：ハードの状況
- 釜石市のスポーツ施設：運営・利活用の状況

(3) .関係者インタビュー

(4) .他自治体の事例調査
- 岩手県紫波町
- 静岡県藤枝市
- 新潟県十日町市
- 新潟県妙高市

(5) .見えてきた課題
- 管理・運営における良点と課題
- 利用における良点と課題
- 釜石市におけるスポーツ参加は十分か？
- 釜石市には十分なスポーツ施設があるか？

(6) . 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
- 中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり
- 施設の幅広い利活用の促進
- 点の管理から面の管理へ

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
現状調査・インタビューを通じた洞察

釜石鵜住居スタジアムを含む釜石市内スポーツ施設の運営計画に当たり、地元の住民や、市政の責任者・担当者、民間ステークホルダーへのインタビューを行った結果、大きく3つの課題が浮かび上がった。

今後の釜石市のスポーツ施設運営に向けて、各課題に対して下記対応を提案したい。

課題①
- ✓ 先を見通した運営・管理計画が行政側、管理業者側ともに不明確
- ✓ サービス向上の指針があいまいで具体策がとりにくい

課題②
- ✓ 施設の利用者が限られている
- ✓ 施設の稼働に波があり、より効率的な運営の余地がある
- ✓ 一般利用方法がわかりにくく、新規利用のハードルが高い

課題③
- ✓ どのような施設が用意されているのか利用者に認知されていない
- ✓ 運動しない、興味がない人がスポーツ施設に足を運ぶためのきっかけづくりが不十分

中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

- 中期計画
  - 目指すべき姿の明確化
  - 施設改修計画
- 管理品質の向上
  - 目標設定
  - KPIマネジメント

施設の幅広い利活用の促進

- 施設の利活用
  - 定期利用
  - スポット利用
  - イベント
- 幅広い利用者への対応
  - 高齢者層
  - 若者～中年層
  - 学生
  - 子供たち

点の管理から面の管理へ

- 見える化
  - 釜石市スポーツ施設としての統一化
- コンテンツ作り
  - 顕在顧客へのアプローチ
  - 潜在顧客へのアプローチ

<具体案>
①第三者モニタリングからの明確な計画作成
②中高齢者にスポットしたプログラム導入
③利用を見える化する：ラインナップ整理とスポーツマップ作成

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

<具体案① 第三者モニタリングからの明確な計画作成>

現在釜石市では、指定管理者制度導入施設（民間事業者）におけるモニタリングを実施しているが、評価を市が行っているために客観性に乏しいこと、評価項目の数が少なく具体性に欠けることから、改善の余地があると考える。

より具体的な評価項目を設定し第三者による客観的な評価を行うことで、釜石市は適切なモニタリングが可能となり中長期的な施設の運営改修計画を立てやすくなり、指定管理業者はサービス向上に向けた具体的な取り組みを実施しやすくなる。

（例）現在の施設モニタリング総合評価シート

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度：平成24年度】

※1～6：所管課記入、7：指定管理者記入、8～9：指定管理者及び所管課記入

所管課	生涯学習スポーツ課
指定管理者	（株）協立管理工業

1　施設名等

施設名	平田公園野球場 平田公園クラブハウス	住所・電話 ホームページ	野　球　場）釜石市大字平田6－85－2（℡：26－7577） クラブハウス）　〃　6－98－8

2　施設の概要

設置年月	平成5年（野球場）　平成12年（クラブハウス）　根拠条例等：釜石市都市公園条例・釜石市都市公園条例施行規則
設置目的	市民の交流機会の増進に資するため
施設内容	野球場（グラウンド、会議室、夜間照明）、クラブハウス（大会議室、小会議室、シャワー）
利用料金	野球場　グラウンド　小中高500円、大人1,010円、　会議室　200円、　照明　全灯4,000円、半灯2,000円 クラブハウス　大会議室（小会議室）9～17　260円（70円）17～21　330円（80円）9～21　3,120円（840円）　シャワー　100円（1人1回）
開所日	月曜日から日曜日　248日（24年度）
開所時間	野球場8時～21時　クラブハウス9時～21時

3　現指定管理者前の管理運営状況

期　間	管　理　形　態	管理受託者又は指定管理者等
平成17年度まで	管理委託	自治振興公社
平成18年度～20年度	指定管理	（株）協立管理工業

4　報告年度の指定管理者等

指定管理者	（株）協立管理工業	指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日（　5年間）
選定方法	公募（応募者数：1）		

5　指定管理料

平成24年度	平成23年度決算（A）	平成22年度決算（B）	差（A）－（B）
16,126千円	16,315千円	12,555千円	△3,760千円

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

（例）現在の施設モニタリング総合評価シート（続き）

・危機管理体制の構築 ・安全対策の実施 ・個人情報の保護 ・事業報告書等の提出 ・職員の研修				
収支状況 （例） ・収入及び支出額 ・管理経費の縮減策実施	平成２３年度 収入額　216,330円 支出額　14,287,486円	B	収入と支出のバランスを考えると，自主事業の実施等の収入増を見込める工夫が必要である。	C
今年度（平成24年度）の取組み	・外野の芝生補修 ・三塁側の側溝土砂撤去	B	主が施設の維持補修であるため、ソフト面の取り組みが必要である。	C
総合評価	震災後、運動不足解消に野球やソフトボールに等に親しむ人が増加しているので、平等性を考慮し早朝やナイター利用を促進した。 グラウンド整備等も、前日に実施したり利用者の立場に立って対応した。	A	維持管理の予算も厳しい中、施設利用が増大しているにもかかわらず適正に利用調整が図られ、また、維持補修については良好と判断される。 収入増を考慮した自主事業等の工夫が課題である。	B

9　制度の効果及び施設管理運営の課題

項　目	指定管理者	所管課
制度の効果	指定管理制度の最大目標は、民間の柔軟性を持った運営と公平公益性を尊重し、市民のサービス低下にならないよう施設の管理運営を行うとともに、利用者のニーズに沿うような施設にする。	経費及び事務量の軽減が図られているが、市内のスポーツ・レクリエーション施設の現状に即した制度の更なる特性を活かした工夫が必要。
施設の管理運営の課題	備品等については、年次計画で徐々に揃え利用者に満足してもらっているが、トイレの水洗化及び駐車場の拡張は今後の課題である。	ニーズの多様化に応じた施設整備が求められる。 収入増につながるための、施設の特性を生かした自主事業の実施が課題。

※参考

平成21年度（C）													
（B）／（C）													
増減要因等													

（3）利用料金見直しの状況

見直しの有無	見直した場合はその内容
有　・　(無)	

（4）開所日・時間の見直し等の状況

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成23年（A）：226日 平成22年（B）：245日 ※参考 平成21年（C）：　日	平成23年（A）： 平成22年（B）： ※参考 平成21年（C）：	有　・　無	

（5）サービス向上のため実施した内容

（野球場）
・球場前の駐車場には震災後８棟の仮設住宅が建設され、利用者の区画が狭くなったため区画変更し、より多く駐車できるようにした。また、朝野球にも球場を開放し職員も早朝からの対応をとり運営に協力した。
（クラブハウス）
・仮設住宅自治会の集まりや、支援団体の催事に大会議室等を貸出すなど協力した。

（6）利用者の主な声及びその対応状況

唐丹小・中学校の校舎が被災で消失したことから、学校行事の運動会等の開催が困難なため、球場を開放し運動会の本番やそのための練習会場に協力した。また、野球部の部活動の場所の提供も行った。

（6）釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

（例）第三者による施設モニタリング総合評価シート

参考：横浜市 指定管理者第三者評価制度

http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/siteikanrisha/hyouka/seidogaiyou.html

様式例１０　指定管理者制度活用事業　評価シート

指定管理者制度活用事業　評価シート

1. 基本事項

施設名称	富士見公園南側(川崎富士見球技場他)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 川崎フロンターレ・東急コミュニティー共同事業体 ・代表者名 代表取締役社長 藁科 義弘(川崎フ) 取締役社長 [illegible](東急) ・住所 川崎市高津区末長四丁目8番52号(川崎フ) 東京都世田谷区用賀四丁目10番1号(東急)	評価者	みどりの企画管理課長
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課	環境局緑政部みどりの企画管理課

2. 事業実績

利用実績

		27年度	28年度	29年度	[illegible]
富士通スタジアム川崎	利用者数	85,998	81,105	87,900	6,795
	観客数	84,576	115,825	105,990	-9,835
	合計	170,574	196,930	193,890	-3,040
かわQホール利用者数		56,312	55,267	62,631	7,364
富士見球場利用者数		9,100	8,240	5,760	-2,480
駐車場駐車台数	第1駐車場	19,479	19,395	19,364	-31
	第2駐車場	22,275	22,269	22,258	-11
	合計	41,754	41,664	41,622	-42
はぐくみの里来場者数		9,590	6,732	9,252	2,520
合計		287,330	308,833	313,155	4,322

収支実績

（単位：千円）

	項目	27年度	28年度	29年度	[illegible]
収入	富士通スタジアム川崎	82,182	82,634	82,818	184
	かわQホール	2,201	5,291	6,837	1,546
	富士見球場	409	414	391	-23
	駐車場	76,898	81,398	84,445	3,047
	自主事業	8,587	9,340	11,672	2,332
	その他	1,780	2,578	810	-1,768
	合計	172,057	181,655	187,073	5,418
支出	維持管理運営費	114,684	126,212	127,001	789
	自主事業	2,332	1,492	2,191	699
	合計	117,016	127,704	129,192	1,488
収支差額		55,041	53,951	57,881	3,930

サービス向上の取組

○主なイベントなどの参加者から利用者アンケートを実施し、月1回の社内会議でアンケート結果の共有及び結果を踏まえての対応策を話し合っている。打ち合わせに出席できなかった社員にはメールで情報を共有している。また、課題等については市の担当者に報告するなど利用者満足の向上に努めた。
○富士見公園緑地管理会議を年1回開催し、公園エリア別の課題と対策や、緑地の改善に向けた役割分担について関係者で情報共有を行った。
○施設の維持管理、設備点検、緑地管理、園内清掃、樹木管理や巡視等を適切に行い、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。
○市民参加型のリレーマラソン「イイコトチャレンジ」を招致・開催し約2,200名が参加した。富士通スタジアム川崎、競輪場、市民広場を通過するランニングコースを設定することで、富士見公園南側全体の回遊性の向上及び賑わいの創出に寄与した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか 2 利用者満足度は向上しているか 3 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか	10	4	8
	○イベント参加者など660名からアンケートを実施し、施設や公園内の管理状況等について満足以上との評価を82%得ている。また、公園内の安全性及び清掃についても72%、87%と高い評価を得ている。 ○利用者満足度の向上においては、指定管理者の得意とするイベントの内容に対して多い。 ○職員対応について81%の満足以上と評価を得ている。 ○アンケートの設問全般について概ね高い評価となっている。調査結果を分析し、次年度に向けて取り組む予定である。				
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	4 計画に基づく適正な支出が行われているか 5 支出に見合う効果は得られているか 6 効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか	8	4	6.4
	収入の確保	7 計画通りの収入が得られているか 8 収入増加のための具体的な取組が為されているか	6	4	4.8
	適切な金銭管理・会計手続	9 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか 10 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか	4	4	3.2
	○大学等への周知によるラクロス等の定期的な利用や、自主事業のサッカースクールやクリニックなどの利用が好調である。また、かわQホール、駐車場の利用が計画以上の収益を上げた。 ○委託料や維持管理等の必要な項目については適切に支出を行っている。 ○本社経理部と現場の指定管理者の役割を分けるなど、金銭管理や会計手続を問題なく適切に行った。また、第三者評価を通じて金銭管理等についてチェックを受けている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	11 提供すべきサービスが仕様書や実施計画書等に基づいて適切に提供されたか 12 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか 13 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか	6	5	6
	利用者の意見・要望への対応	14 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか 15 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか) 16 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか	8	3	4.8
	業務改善によるサービス向上	17 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか 18 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか 19 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	6	4	4.8
	提案事業・自主事業の実施状況	20 施設利用者へのサービス向上及び利用促進につながる提案事業・自主事業を実施しているか 21 施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか	8	4	6.4
	○指定管理者の持つ多様な情報発信能力を活用しスポーツ団体だけに止まらず、周辺施設、地元商店街、商業施設、町内会及び川崎市の組織と連携し、様々な企画を実施し富士見公園南側全体の賑わいを創出している。 ○アメフトの拠点強化とともにアメフトを活用した地域活性化を行うために、地元商店街との連携や地元商業とタイアップしたイベントを実施することで、来場者を増加させ賑わいを創出している。 ○施設の利用については、アメフトのオフ期間に他団体に働きかけ、ラクロスや障がい者スポーツなど多様なスポーツの利用者を増やしている。 ○アンケートや第三者評価の実施結果を基に次年度以降に取組を行う予定である。 ○定期開催の教室だけでなく、単発の体験会や障がい者スポーツ体験など、定期的に利用できない方々へも機会を提供している。 ○川崎球場の歴史を伝えるイベントは全国から利用者が訪れるなど好評である。 ○維持管理に関しては、植栽の適正な管理や日常の巡回清掃を実施するとともに利用者からの苦情に素早く対応し、安心・安全・快適な環境を保つことを心掛けている。また、はぐくみの里のイベント時にもボランティアと協働し、開催することによって、来場者に満足していただいている。				

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

（例）第三者による施設モニタリング総合評価シート（続き）

参考：横浜市 指定管理者第三者評価制度

http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/siteikanrisha/hyouka/seidogaiyou.html

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	22 必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	23 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	2	0.8
	再委託管理	24 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監督・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	25 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	2	1.6
	安全・安心への取組	26 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）	2	4	1.6
	コンプライアンス	27 個人情報保護、その他の法令遵守のルール（規則・マニュアル等）と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
	○人員は、計画通りに適切に配置されている。 ○所管課との連絡・連携については必要に応じて随時連絡を行っているが、調査事項への回答が遅れる事例が複数回あった。また、提出資料については誤記載が多く見受けられた。 ○再委託先との連絡調整は適宜・適切に行われている。 ○ふれあいネットの誤入力の事例があった。 ○スタッフのAED講習、スタッフ防災訓練を実施した。 ○スタジアムコンプライアンス研修、周辺町内会及び消防局と合同防災訓練を開催するなど適切な安全管理体制を図っている。 ○ヒヤリハットマップを作成し、危険個所等の事例の情報共有を行っている。 ○個人情報保護について、マニュアルの整備や研修を実施している。				
適正な施設の維持管理	施設・設備の保守管理	28 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3	3.6
	植栽管理	29 樹木や植栽を適正に管理しているか	6	3	3.6
	管理記録の整備・保存	30 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・記録されているか	4	3	2.4
	清掃業務	31 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	6	4	4.8
	警備業務	32 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	33 設備・備品の整備や整理、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2
	○定期的・計画的に施設や設備、園内の点検、整備を適切に実施している。快適性向上のため、公園内のトイレの大幅リニューアルを行った。また、照明のLED化や節電に努めている。 ○倒木対応や草刈り、剪定など樹木や植栽を適正に管理している。市民からの要望にも柔軟かつ迅速に対応している。 ○「富士見公園緑地会議」において、ボランティアと「はぐくみの里」に関する運営について意見交換を行い、春祭りや秋の収穫祭等のサポートを適切に実施し、来園者を増やしている。 ○点検記録、修繕履歴など適切に整備・記録し、指定管理者で対応可能のものは迅速な対応を行っている。また、市民からの施設の苦情については、迅速に対応を行っている。 ○清掃業務については、利用者の利便性を考慮し各施設の利用されていない時間帯に適宜実施するとともに、毎日2度の巡回清掃のほか、必要に応じて再清掃を行うなど清潔な美観と快適に利用できる環境を維持している。 ○公園内の犬の放し飼い禁止の注意を所管局とともに行い、マナー喚起を行っている。不法投棄禁止やごみの持ち帰りなどのマナー喚起看板、張り紙を設置している。				

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B

5. 事業執行（管理運営）に対する全体的な評価

平成29年度は指定管理者としての業務は3年目にあたり、管理運営等については効果的に行い利用率を伸ばしている。
○アメフトやラクロスの試合の開催の誘致だけでなく、幅広い年齢層に対応するプログラムや親子のふれあいを深めるような新規事業を開催することへの意欲的な姿勢は高く評価できる。
○はぐくみの里についてもイベントのサポートやボランティアとの意見交換を行い憩いの場の創出に寄与している。
○清掃業務については、利用者の利便性を考慮し、公園トイレのリニューアルのほか各施設の利用されていない時間帯に適宜実施するとともに、毎日2度の巡回清掃のほか、必要に応じて再清掃を行うなど清潔な美観と快適に利用できる環境づくりを適切に維持している。

6. 来年度の事業執行（管理運営）に対する指導事項等

○意見・要望の収集については、昨年度よりアンケートの実施数を増やし利用者の意見を反映するようにしているが、アンケートはイベントの参加者の回答であることから、概ね好意的な意見となっている。今後は、イベントを利用したことのない人の回答数を増やすなど、より幅広い意見を収集し事業に反映する必要がある。
○利用率の低い時間帯などの利用促進について、引き続き積極的に実施し、より一層の利用率の向上や利用者ニーズの高い自主事業等の実施を期待する。
○収支について、引き続き質の高い魅力的なイベントを実施し、収益を上げつつ、施設の維持管理に必要な支出は適切に行い、収益の一部で地域還元できるイベント実施などについても検討するよう期待する。
○市の施設で作成が義務づけられているエネルギー管理標準を作成し、エネルギー管理を行い、節電に努めることが必要である。
○「緑にふれあえる憩いと触れいの場の提供」の実現に向けて、市民広場やはぐくみの里などの公園全体の賑わい創出や憩いの場となるように、ボランティアとの協働連携やボランティアの育成に取り組むことが必要である。

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

釜石市の施設モニタリング総合評価シート 評価項目案

施設の適切な運営体制

＜適正な人員配置と連携体制＞

- 仕様書に規定された職員の配置が行われているか
- 必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されている
- 必要なスキルに応じて適切に職員の研修が行われているか
- 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか
- 定期または随時の会議等により所管課との連絡・連携が十分に図られているか
- 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか
- 事業報告書は適切なタイミング・フォーマットで提出されているか

<安全・安心への取り組み＞

- 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる危機管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）
- 個人情報保護、その他の関係法令遵守のルールと管理・監督体制が整備され、適切に運用されているか

施設の維持管理

＜施設・設備の保守管理＞

- 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか
- 自動ドアやエレベータ、電灯、外壁、駐車施設などに不備や故障はないか
- 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか

＜管理記録・情報更新＞

- 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・記録されているか
- 施設予約状況は適切に管理・更新されているか
- 改修、休館、価格改定等のお知らせは適切に情報発信されているか

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

釜石市の施設モニタリング総合評価シート 評価項目案（続き）

＜施設の清掃・備品管理＞

- 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか
- 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか
- 使われていない設備・不要になった道具は放置せずに活用・処分の検討、実施をしているか

利用者サービス向上の取り組み

＜利用者満足度＞

- 利用者満足度調査を適切に実施しているか
- 利用者満足度は向上しているか
- 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取り組みに反映しているか

＜適切なサービスの提供＞

- 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか
- サービスの利用促進への具体的な取り組みがなされているか
- 安全に施設を利用するために利用者へ適切な案内・指導が提供されているか
- 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか
- 利用者に応じて適切な利用許可、利用減免が行われているか

＜利用者の意見・要望への対応＞

- 利用者ニーズの把握に努め、事業や管理、提供サービスに反映させているか
- 意見・要望の収集方法は適切か（十分な意見・要望を集めることができたか）
- 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか
- 施設の利用申込に対し、わかりやすく平等な案内・対応がなされているか

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

釜石市の施設モニタリング総合評価シート 評価項目案（続き）

＜業務改善によるサービス向上＞

- 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか
- 業務改善が必要な場合の現状分析、課題把握、改善策の検討・実施が行われているか
- 業務改善の取り組みによって具体的な効果があらわれたか

<提案・自主事業の実施状況>

- 事業計画書において計画した事業が実施されているか
- 利用者へのサービス向上及び利用促進につながる提案・自主事業を実施しているか
- 利用者のニーズを踏まえた提案・自主事業を実施しているか
- 自主事業実施によって具体的な効果があらわれたか

収支計画・実績

＜効率的・効果的な支出＞

- 計画に基づく適正な支出が行われているか
- 支出に見合う効果は得られているか
- 効率的な執行等、経費縮減の具体策は実施されたか

＜収入の確保＞

- 計画通りの収入が得られているか
- 収入増加のための具体的な取り組みがなされているか

＜適切な金銭管理・会計手続＞

- 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか
- 事業収支に関して適正な会計処理がなされているか
- 収支計画は適切なタイミング・フォーマットで正確に報告されているか
- 収支実績とその内訳は適切なタイミング・フォーマットで正確に管理、報告されているか

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
施設の幅広い利活用の促進

<具体案 ② 中高齢者にスポットしたプログラム導入>

釜石市のスポーツ施設は各スポーツのクラブチームやスポーツ少年団、学生の部活動の定期利用があり、ある程度活用されている。一方で、利用時間帯、利用方法、利用者層が限定的であることがインタビューや市民の声から課題として読み取れた。

定期利用以外の利用可能性を広げるために、①高齢者層の余暇・健康増進を目的としたスポーツ施設の利用、②現在利用が少ないといえる働き盛りの若者～中年層のスポット利用・個人利用に焦点を当てたい。

同対象に向けたスポーツ施設の活用施策によって、施設の稼働が少ない時間帯の活用、定期利用者以外が施設利用しやすくするための取り組みが可能となる。施設の幅広い利活用を促進することは、市民のスポーツに対する心理的ハードルを下げ、釜石市全体の健康増進につながる。

提案① 高齢者層へのアプローチ：本格的すぎない気軽なスポーツで施設を多様に活用

高齢者層がスポーツ施設を積極的に利用することで、以下の効果が見込まれる。

- ✓ クラブチームや学生の利用が少ない平日昼間のスポーツ施設稼働率を向上できる
- ✓ 釜石市民の健康増進につながり、医療費を削減できる
- ✓ 利用者同士のコミュニケーションの活発化につながる

スポーツ施設の活用例

- ➢ グラウンドゴルフ…高齢者用に考案された、8ホールを30分ほどで終えられる簡略化されたゴルフ。岩手県民へのアンケート調査でゴルフは今後やってみたいスポーツの上位10位に入っており、本格的なゴルフより気軽に始められるため、市民が興味を持つ可能性が高い。

  活用施設：サッカー場、ラグビー場、野球場など

参考：日本グラウンド・ゴルフ協会ホームページ
http://www.groundgolf.or.jp/Default.aspx

- ➢ ウォーキング…道具が不要で好きな時に行えるため、現在運動していない人も気軽に始めやすい。岩手県民へのアンケート調査では今後やってみたいスポーツの1位は散歩、2位はウォーキングであり、スポーツを始めるきっかけとして有力である。現在単独でウォーキング・ランニングをしている市民が散見されるが、コースを整備し提案することで個人・グループでの利用双方を促進できる。

  活用施設：各施設（施設の周辺にウォーキングコースを設計・提供）

- ➢ 百歳体操…公民館（生活応援センター）などで定期的に行われ、市民にとってなじみがある。普段は地域ごとに単独で行っているが、健康イベントの目玉としてスタジアムで百歳体操の集合大会をしてお年寄り好みの屋台出店などを行いスタジアムへ親しみを持つきっかけにしてもらう。

  活用施設：スタジアム、スタジアム周辺広場

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
施設の幅広い利活用の促進

提案② 若者～中年層へのアプローチ：スポット利用・個人参加可能なプログラムの提供

若者～中年層へのスポーツプログラム提供により、以下の効果が見込まれる。

- ✓ 働いていて時間のない人でも空いた時間・すきま時間にスポーツを楽しめる
- ✓ メンバーを集めたり時間をあわせる必要がなくエントリーしやすい
- ✓ 不規則な生活でチームへの所属が難しくても個人で好きな時に体を動かせる
- ✓ スポーツに苦手意識や身体的な負担がある人でも自分のペースで運動できる

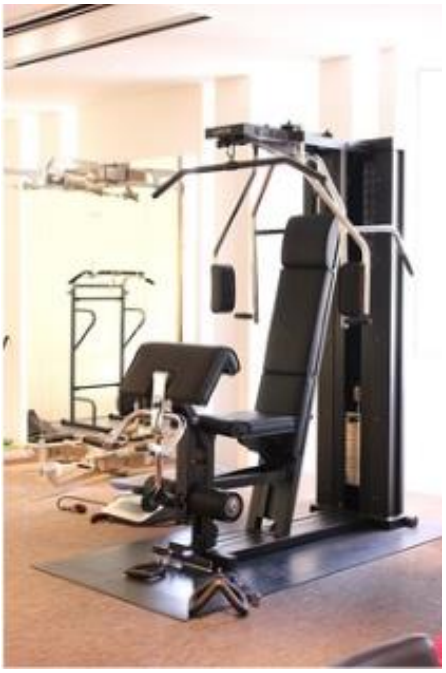
スポット利用・個人参加可能なプログラムの例

- ➢ ヨーガ…道具が不要であり体一つで行うことができる。高度なテクニックは不要であり、男女問わず幅広い年齢層がいつでもエントリー可能。岩手県民へのアンケート調査では今後やってみたいスポーツの6位に入っており、関心の高さが伺える。指導者が一人いれば個人でもグループでも気軽に参加でき、屋外でも屋内でも行えることがメリットである。

  活用施設：体育館、交流センターを始めとした屋内施設、スタジアムや浜辺等

- ➢ ワークアウト…現在は市営プール施設内にジム施設があるほか民間のジムがイオンタウン内にある。個人で行う運動のためチームメンバーや対戦相手などが不要であり、自分のペースで好きな時に好きなだけ行うことができる気軽さから働き盛りの人々に人気がある。用具や設備の利用方法やトレーニングの仕方がわからないため始められない潜在顧客へ向けた、初心者向けレッスンやワンタイムトレーニングなどのプログラムを提供することで、利用者の増加を図ることができる。

  活用施設：市営プール内ジム、体育館などの屋内施設



(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
点の管理から面の管理へ

<具体案③ 利用を見える化する：ラインナップ整理とスポーツマップ作成>

釜石市民の声として、「どのような施設が市にあるのかわからない」「利用の仕方がわからない」「各施設でどんなことができるのか知らない」「そもそも運動をする習慣がない」「スポーツに興味がない」といった声がある。

このような課題を解決するために、まずはスポーツ施設のラインナップと利用法をわかりやすく提供する必要がある。現状、各施設の用途、運用、利用方法はバラバラのため市民の視点からはなにがあるのかわかりづらくなっている。各施設にマークを付けて釜石市の施設として統一感を持たせたり、利用ガイドを整理したり、マップによって位置関係を明確にする等、施設のラインナップを見える化することで利用者へわかりやすく情報を伝えることができる。

また、スポーツという観点だけでなく街全体を楽しむコンテンツとして釜石街歩きマップを提供することでスポーツに関心がない層がスポーツに興味をもつきっかけを生みだし、市内外含め広範囲の利用者にアプローチしていくことができる。

提案① スポーツ施設ラインナップと利用方法の見える化

現在のラインナップと予約方法

釜石市のホームページで公共施設リストを掲載している。各施設の予約状況は施設名右側のURLをクリックすることで確認でき、利用したい場合は「体育施設予約サービス」項目内のURLをクリックし予約ページからWeb予約することができる。

施設ラインナップ

市内のスポーツ施設等

施設名	住所	本日の予約状況等（PC向けサイトへアクセスします。）
釜石市球技場	釜石市甲子町10-159-4	https://kamaishisports.com/tv/signage/1
市営プール	釜石市大平町3-6-1	https://kamaishisports.com/tv/signage/2
市民交流センター	釜石市嬉石町1-7-8	https://kamaishisports.com/tv/signage/3
中妻体育館	釜石市中妻町1-6-36	https://kamaishisports.com/tv/signage/4
平田公園野球場	釜石市大字平田5-85-2	https://kamaishisports.com/tv/signage/6

※各施設の概要は、各施設のページをご覧ください。

Web予約ページへのリンク

体育施設予約サービス

市内体育施設の予約状況の確認や利用申し込みをパソコンやスマートフォンなどから行えます。

随時、施設の空き状況の確認・予約申し込みができるうえ、スポーツイベントの情報を確認することができます。ただし、予約申し込みサービスを利用する場合は、別途利用者登録が必要ですので、各施設に備える申請書により登録してください。

サービスサイトはこちら

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
点の管理から面の管理へ

提案① スポーツ施設ラインナップと利用方法の見える化（続き）

予約状況（施設名右のURL遷移先）

釜石市球技場 施設予約状況

－：予約不可 ◎：終日予約可能 △：空き有り ×：空き無し

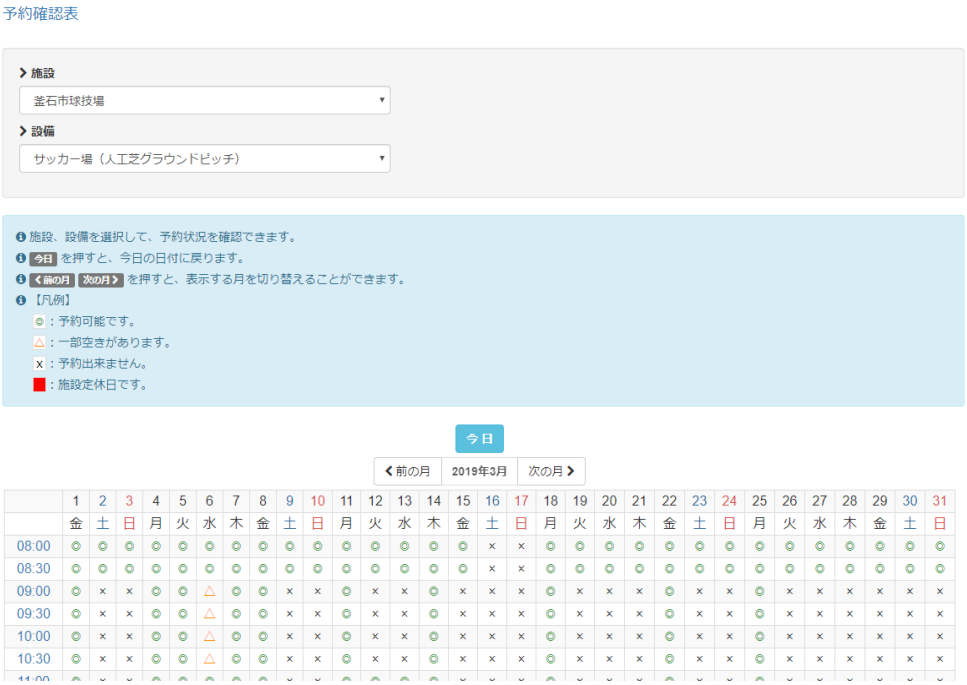
17 日(Sun.)	サッカー場（人工芝グラウンドピッチ） △	設備備品 ◎
	ラグビー場（人工芝グラウンドピッチ） △	
	クラブハウス △	
18 月(Mon.)	サッカー場（人工芝グラウンドピッチ） ◎	設備備品 ◎
	ラグビー場（人工芝グラウンドピッチ） △	
	クラブハウス ◎	

本日(2019年3月17日 日曜日)のスケジュール

本日の予定はありません。

Web予約ページ

Web予約ページ内の予約確認表



(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
点の管理から面の管理へ

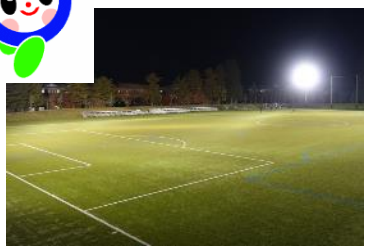
提案① スポーツ施設ラインナップと利用方法の見える化（続き）

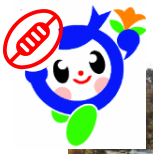
現在のラインナップや予約状況の見せ方からは、以下の課題があげられる。それぞれのポイントを改善することで、情報を見える化し利用者へわかりやすく情報を提供することができる。

【課題】	【改善策】
Web予約システムの利用には紙で申込書を提出し利用者登録をする必要がある	利用者登録もWebから出来るように登録フォームを設置し、Web上で手続きを完結できるようにする
予約状況と予約ページがばらばらで、予約ページに進んだ後に施設を再度選びなおす必要がある	予約ページから各施設の予約状況を確認できるよう導線をシンプルに整理する
施設ラインナップページの「予約状況」と予約ページの「予約確認表」が異なるデザイン・見た目で重複して存在する	見ることのできる情報をまとめ、どちらかひとつのページにする
それぞれの施設でどんなことができるのかわからない	施設ラインナップの横に簡単な施設の基礎情報と説明をつける
それぞれの施設の位置関係がわからない	施設ラインナップの横にマップを表示する
施設がばらばらに存在し「釜石市の公共施設」であることがわかりづらい	施設の看板にロゴマークを付ける等して、釜石市の施設として統一感を出す

ロゴマークの例

球技場（サッカー）




釜石鵜住居スタジアム

平田公園野球場

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
点の管理から面の管理へ

提案② 釜石市スポーツマップの作成

上段で述べたように、釜石市民がスポーツ施設の所在を認知しきれていないことは、施設の利活用最大化の妨げとなっている。そこで釜石市のスポーツ施設をマップにし、散策コースとして提案することで施設の認知拡大と位置関係の把握につなげたい。

釜石市スポーツマップの提供により、以下の効果が見込まれる。

1．わかりやすい情報の提供とPR

- ✓ 釜石市のスポーツ施設のラインナップを利用者へアピールできる
- ✓ 釜石市のスポーツ施設がそれぞれどのエリアにあるのか位置関係を把握できる

2．スポーツ参加者の増加と市民の交流促進

- ✓ 釜石市内の名所やイベントと組み合わせることで、心理的抵抗なく身体を動かすことができる
- ✓ 運動をする習慣がない・興味がない人がスポーツへ関心をもつきっかけになる
- ✓ 公民館（生活応援センター）をマップに入れることで、公民館利用者のスポーツ参加・市民の交流を促進できる

3．スポーツ施設全体としての利用促進

- ✓ スタンプラリー等の提供により、各施設ばらばらではなく施設全体としての利用促進が可能となる
- ✓ 市内外の利用者へ釜石の観光コンテンツとして提供できる

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
点の管理から面の管理へ

提案② 釜石市スポーツマップの作成（続き）

鵜住居
スタジアム周辺コース

鵜住居公民館、津波伝承館、釜石鵜住居スタジアム、鵜住神社、宝来館、根浜海岸

W杯の舞台となるラグビースタジアムをはじめとして、防災教育や浜辺の散歩が楽しめるコース。

中妻～甲子
内陸コース

中妻公民館、小佐野公民館、甲子公民館、中妻体育館、弓道場、球技場

内陸エリアの川沿いを散歩しながら多様な施設を巡ることができるコース。

釜石駅前
シーサイドコース

釜石駅、釜石公民館、シープラザ釜石、イオンタウン釜石、ミッフィーカフェかまいし、TETTO、釜石PIT、釜石港、市民交流センター、体育館、市営プール、釜石大観音

（平田唐丹エリア：平田公民館、唐丹公民館、平田野球場、クラブハウス）

釜石の繁華街巡りのほか、市街地で行われるイベントを満喫できるにぎやかな市街地コース。釜石大観音へ足を延ばしたり、釜石港周辺の散歩を楽しむこともできる。

(6) 釜石市のスポーツ施設運営に向けたご提案
3つの施策の連関

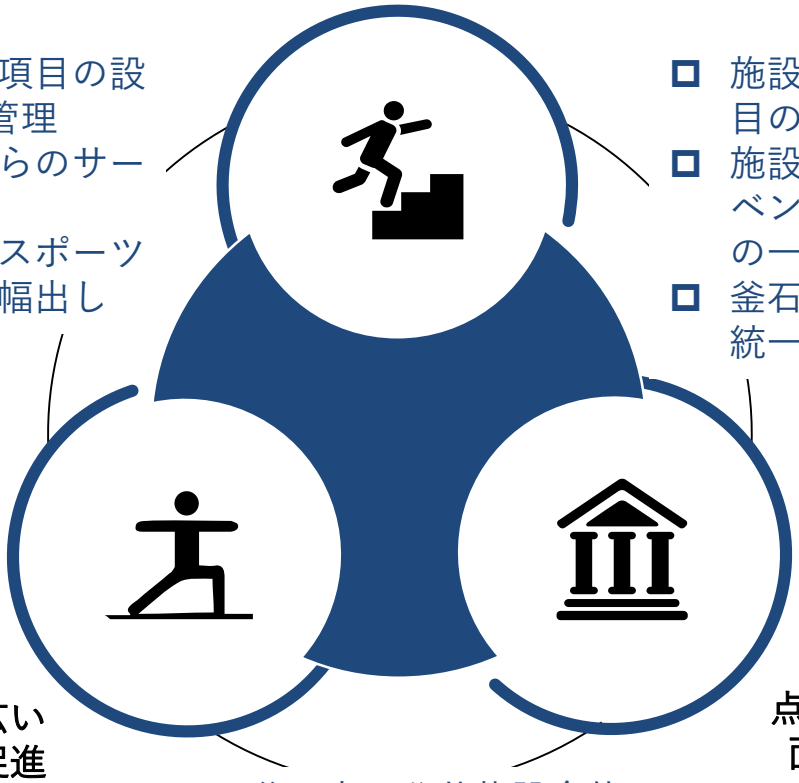
本章では釜石市内スポーツ施設の基礎情報の確認、指定管理事業者や行政、市民のインタビューを通じて現状把握、状況分析と課題の洗い出しを行い、改善へ向けた3つの施策 ①中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり、②施設の幅広い利活用の促進 ③点の管理から面の管理へ、を打ち出した。

3つの施策は相互に連関しており、ひとつの改善はほかの施策の改善につながる。また各施策を同時に推進することで、効率的な効果の最大化が見込まれる。

中期的な運営・管理・モニタリングの仕組みづくり

- 具体的な評価項目の設定によるKPI管理
- 利用者目線からのサービス改善
- 主目的以外のスポーツ施設利活用の幅出し

- 施設の管理運用評価項目の標準化・一元化
- 施設を跨いだ大規模イベント・スケジュールの一元管理
- 釜石市の施設としての統一感・一体感の造成



施設の幅広い利活用の促進

点の管理から面の管理へ

- 釜石市の公共施設全体の相互利用促進
- 各施設間で融通を効かせることで繁忙時の分散・閑散時の有効活用